

明治三十七年（一九〇四年）

七月七日

●瓊浦游泳協会

同会は一昨夜内外倶楽部に理事会を開き、遠からず開始すべき諸般の準備に就き協議したるが、游泳の場所は矢張昨年の通り鼠島に、開会期は十日を出でざることに決定したり。尚本年は昨年同様の設備以外に棧橋等の準備整いたれば、其盛会は予想に余るべく、且つは軍国の際迎海国男子の最も奮って試みる事なるべし。

内外倶楽部 長崎在留の外国人と日本人の社交の場として倉場富三郎らが発起人となり設立された。出島の「旧内外クラブ記念館」は明治三十六年に建設された当時の建物。

七月九日・十日

【広告】

告会員諸君

今回事務所ヲ染紺屋町廿六番地（松野嘉兵衛方）ニ仮設候ニ付入会希望ノ諸士ハ至急同所へ御申込アレ

鼠島游泳場開始ノ期日ハ追テ広告ス

三十七年七月 瓊浦游泳協会

七月十七日

【広告】

鼠島游泳
開始広告

●本日十七日開始（雨天順延）

●乗船場 出島埋立地

●出島出船時刻（当分ノ内）左ノ通り

午後一時 同三時 同五時

但日曜に限り午前十一時出船

●事務所染紺屋町二六松野方

瓊浦游泳協会

七月二十日・二十一日・二十三日

【広告】

游泳協会会費規定広告

●本会会費一ヶ月金三十銭

外に一日往復船賃

十六才以上八銭 十六才未満四銭

但一日限の会員は往復船賃共

金十銭 十六才以上

金五銭 十六才未満

●学生の会費は船賃共

一ヶ月 金七十銭

但七月は金五十銭とす。

●注意 本会附囑船の乗り場は出島埋立地角の波止場にして茲附近に本会出張所を置く。協会旗に注意あれ。

瓊浦游泳協会

七月二十一日・二十三日

【広告】

游泳協会会費規定広告

●本会会費一ヶ月金三十銭

外に一日往復船賃

十六才以上八銭 十六才未満四銭

但一日限ノ会員ハ往復船賃共

金十銭 十六才以上

金五銭 十六才未満

●学生ノ会費ハ船賃共

一ヶ月 金七十銭

但七月ハ金五十銭トス

●注意 本会附囑船ノ乗り場ハ出島埋立地角ノ波止場ニシテ茲附近ニ本会出張所ヲ置ク協会旗ニ注意アレ

●船賃割引ノコト

送迎船賃一ヶ月又ハ本夏期中前払セントスル会員ハ（船主へ特別割引ノ交渉ヲナスニ付）本会事務所若シクハ鼠島出張員等へ御申出アリタシ

瓊浦游泳協会

七月三十一日〜八月四日

【廣告】

発船時刻改正公告

八月一日ヨリ

出島発船時刻を改正ス

毎日 午前前十時、午後一時
午後三時、午後五時

但日曜日ニ限り午前ノ出船ヲ九時十一時ノ二回トス

瓊浦游泳協会

八月二日

●鼠島游泳場の変事

(一名の行衛不明者あり但し游泳正会員に非ず)

一昨卅一日、鼠島游泳会後勿怪の珍事出来したり。同日は日曜の事迎参会者殊に夥しく千二三百名に上り閉場時刻迄非常の盛況を呈したりしが、廳て最後復船出発に臨み同会役員諸氏は殊更混雑の日なれば注意を加え復船乗込に遅刻者なき様奔走中不図脱衣場にヘルメット帽白立縮浴衣紋形兵児帯懐中時計及び桐直履等の遺し有るを認めれば、理事師範助手事務員等は偕てこそ大事よと其儘居残り島影巖底は愚か隅々限なく百方手を尽して搜索に従事したれど其甲斐なく不時に漁船を備い手繰網もて辺海最寄を縦横に捜査せしも昨午後五時頃迄遂に発見する

を得ざりしが役員諸氏は尚お引続き之に従事尽力中なり。然るに其日午後一時出島発船に便乗せし和歌山県人当時市内勝山町に下宿し長崎監獄署監守を勤め居る佐藤鹿一(二十五六)と云う者あり。鼠島にて同人と出遇いし者の咄に同日鼠島游泳場にて別れたる儘更に行衛明からずとの事なれば或は其れに非ざるか。尤も同人は游泳協会々員に非ずして同会制規を離れて自由勝手に游泳しつゝ在りしものなりと。搜索方に就ては水上署に於ても非常に尽力しつゝ有り。

尚協会側の云う所に依れば、右変事に就て事情を詳かにせざる者の中には罪を協会の不注意に仮さんとするものもあれ共、是れ非常の間違にて昨年開期中幹旋周到にして些の仔細無かりし。協会は本年更に取締を嚴重にし游泳者の安全のみに注意し居れば、同会規則の下に秩序ある游泳に遵いつつ有る会員間には何等の異変なく、偶ま前記の如き自由游泳者現われ斯る危禍を招くに至れる次第なり。搜索に非常の尽力をなすも是れ寧ろ好意上よりの事に属す。然し多人数のことなれば会員も協会の規則に遵い其監督の下に游泳あり度きもの也と云えり。

八月三日

●鼠島溺死者浮上る

再昨卅一日長崎監獄署看守佐藤鹿一が鼠島にて游泳中行衛不明となるや、此鹿一は游泳会正会員にあらざるも、游泳会にては

理事幹事等非常の設備注意を以て、爾来昼夜の別なく鹿一屍体
 搜索に奔走せしなるが、長崎水上署及び長崎監獄署よりも夫々
 応分の尽力せしを以て、一昨朝よりは地網を打ち潜水者を入れ
 など種々死体発見に努力せし結果、昨日午前十一時頃鹿一屍体
 の游泳会棧橋下に漂うを認め、直に引上げ其筋の検視を受けた
 り。而して鹿一は近来腸胃病に罹り居りしと云えば多分游泳中
 腸胃部冷却の爲め血漿不循環を起して心臓に故障を生じ溺死せ
 しものならんと云う。

八月八日

●昨日の鼠島

瓊浦游泳協会にては日々に入会者を増加し来るは曾て所報の如
 くなるが、昨日曜日の来会者一千二百人以上に上りしが、同日
 は競泳会の催しありて優等者へ夫々賞品を授与したり。其人名
 は左の如し。

男子部 丙組 第一回

第一着 下村 勉 第二着 林田直次郎

第三着 佐武千代光

第二回

第一着 永富 道雄 第二着 小森 保

第三着 本田 三郎

第三回

第一着 山口 健一 第二着 下村 次磨

第三着 堀越 春耶

乙組 第一回

第一着 芦塚 静男 第二着 大場 恒男

第三着 鹿兒島弘道

第二回

第一着 小林正一郎 第二着 溝口 隆

第三着 島瀬 利輔

第三回

第一着 富永 藤太 第二着 伊藤 源吉

第三着 榎屋 幸次

甲組 第一回

第一着 薄井 数馬 第二着 塚原喜代次

第三着 古賀■次郎 第四着 笠野 熊雄

第五着 村井健二郎

第二回

第一着 田中 一郎 第二着 陳 慶 亨

第三着 古川 芳雄 第四着 芦塚 鐵雄

第五着 赤瀬慶一郎

第三回

第一着 藤村 恒章 第二着 奥田 直恵

第三着 松室 安昌 第四着 中川慶一郎

第五着 井下松之助

婦人部 第一回

第一着 松室 チヨ 第二着 小林 フジ

第三着 多田 松代

第二回

第一着 貞住 キミ 第二着 山本 サダ

第三着 岩田 ラク

尚お同会へ賞品を寄贈せしは左の諸氏なり。

ブランドー一打 山口洋酒店

寶来豆十箱 近萬砂糖店

印入上等風呂敷十枚 町田帽子店

若狭製上等ハシ十人前 丸一家具店

ハンカーチフ二十枚 立野雜貨店

上等石鹼五打 木源石鹼店

上等浴衣地一反 藤瀬呉服店

印入上等手拭十筋 村山雜貨店

ビール半打 田中裁縫店

游泳衣 同 肥塚酒店

上等ハンカチーフ 渡邊文房具店

鉛筆五打 山口洋服店

游泳衣

八月十五日

●游泳者の病死

昨日午後二時過当区裁判所書記某鼠島沿岸海中にて病死せしが、今其実情を記せんに、同人は友人数名と通船を備い同島に渡り游泳協會游泳場区域外（協會背面）凡そ四尺内外の浅瀬に浴泳中不図沈入し数分時間浮び出ざりし故、傍見し居たりし人々は初の程は藻潜りしならんと思ひしも、遂に溺れしものと思ひ飛び入り救い上げたり。而して此椿事を協會に通知せしものありしを以て、同協會にては會員外なるにも拘わらず医師及び協會監督の種々の尽力により一時は呼吸を恢復せしも遂に午後五時に至り死亡したり。各医師の検案に拠れば、同人は兼ねて脚氣衝心なること明になれり。因に記す。飲酒の際又は脚氣患者の如きものには最も游泳を慎むべきものにて、瓊浦游泳協會にては夫々規律を定めて秩序ある方法を設けてある趣なれば、同會監督の下に游泳を試みなば斯くも一命を損するに至らざるべし

九月一日・四日

【広告】

出船時刻変更

九月一日ヨリ出島発船時刻ヲ左ノ通り変更ス

(午前ノ発船ハ自今廃ス)

午後一時 三時 四時半

仮事務所を自今新大工町池田宅に移し候

(電話六七二番)

瓊浦游泳協会

出島出張所ニテモ事務ノ取扱ヲナス

九月三日

●*田中直三郎氏の*熱腸

東濱ノ町十二番地田中直三郎氏は日露戦争開始以来日々新聞紙の報道如何と戦報記事に眼を通し居れるが、一戦一勝皇軍の吉報毎に氏は祝酒を挙げつゝあり。実に真国民の*所懐なりと云べし。

熱腸 熱心に思い詰めること。またその心。

田中直三郎 田中直治師範の父で、協会の会計を務めるなど縁の下で協

会を支えた。

所懐 心の中で思うこと。

九月十日・十一日

【広告】

閉会式

来ル十一日(日曜)ヲ期シ閉会式ヲ举行ス

当日ハ大競泳其他盛大ナル水戯等ノ催シ

アリ

右会員、有志、諸君ニ告グ

瓊浦游泳協会

九月十三日

●瓊浦游泳協会閉会式

会員の熱心、師範助手諸子の指導に加うるに有志諸君の扶助に保育せられ次第に好結果を収めつゝある瓊浦游泳協会は既記の如く一昨日鼠島に於て本年の閉会式を挙行したり。鼠島なる会場には翠松緑水の辺幾多の彩旗翻々として風になびき午後一時頃迄には会員来賓皆列席し内には十余名の外人も見えたり。各組男女の競泳を手初めとし障害物競泳、源平土器割、来賓競泳、各師範助手の游泳等あり。中にも男子の水中提灯行列女子の花傘泳ぎ及び水書の如き最も喝采を得たり。かくして泳技終りて閉会式に移り横山会長の式辞朗読に次で本社(本館)の鈴木は主要左の如き談話をなせり。

本会は時局(時局)に関連して二箇(二箇)の重大なる事件(事件)を有す。昨年最も

隆盛に達したる時期に於て暫らく解散せざるを得ざる不幸に遭遇したる所以は今吾等の兇敵たる露国の軍艦が昨年長崎港に恐るべき伝染病を齎したるが為なりし。然るに其悪むべき露艦の現状は実に惘然の至なり。これ天罰とも申すべし。是れ其一也。又昨年我軍艦千歳の来港するや會員諸君は碇泊中の同艦を一周游泳して我帝国海軍の万歳を祝し。千歳に於ても艦長以下大に我會員の壮挙を讚賞したり。然るに斯因縁ある千歳が今や上村艦隊に属し過日敵艦ノウキツクを仕留めしのみか僅に六名の負傷者を出せしに過ぎざるが如き誠じ人爲天佑並び至ると謂う可し。是れ其の二也。此の二事は特に會員諸君の念頭に記憶すべき重大なることなりと思わる云々。

右了りて瓊浦游泳協会万歳を唱え散会せしは午後六時過なりき。尚お同会に就ては師範たりし高柳信昌氏の功最も大にして氏は将校たる軍人にて有り乍ら高齢の爲めに未だ出征の機に会せず。満州に兇敵を討つ雄風を以て将来国家の支持者たる子弟の心を鍊磨し海国民の素質を養成するに尽瘁せる心事誠に感すべく時運は氏を起して出征せしむるの期も近きしは氏の本懐として祝賀すべきことなりとて會員一同特に満腔の感謝を表し居れりと云う。尚お当日の受賞者(三着まで)氏名は左の如し。

男子 丁組 五十ヤード

一、張加源(清人) 二、水上巳三郎 三、渡邊■

女子 丙組 五十ヤード

一、加悦千代 二、牧モト 三、佐竹カヨ

男子 丙組 百五十ヤード

一、末永峰吉 二、森田秀雄 三、塚原■次郎

女子 乙組 百五十ヤード

一、小林フジ 二、今村レン 三、岩田フク

男子 乙組 四百ヤード

一、吉雄敬行 二、加藤健吉 三、渡邊進

女子 甲組 四百ヤード

一、今村サイ 二、田中スガ 三、田中タキ

男子 甲組 八百ヤード

一、塚原清夫 二、田中市郎 三、荒木道■

來賓競泳

一、橋口清二郎 二、鹿谷藤吉 三、深川興一

九月十五日

● 游泳協会

同会は兼て広告の通り本日閉会の筈なりしも、師範、會員諸氏の熱心は尚お暫時開会し置かん意気込強く、為に同会幹部にては来る十八日迄閉会延期に決し、同日大競泳等を行い盛に本年最終の游泳を為し閉会都合なりと。幸いに同日は日曜日に相当する事故會員諸氏は奮つて参会し海国民の壯遊を為す可き

なり。因に記す同会本年の成績は意外に好結果を呈したるを以て本社は近々の中其事歴を序記す可し。

九月十七日

游泳協会の成功 上

瓊浦游泳協会が昨年創設早々著しき成績を呈せし次第は當時の本紙に詳記したるが、本年即ち第二期の同会は、初年に比して幾倍の進歩を遂げ、之を近年長崎に於て成功したる事業の随一として何人も認むるに至りた。今其一端を挙げれば、単に避暑又は娯樂の目的を以て鼠島に赴く人は同会の余り歓迎する所ならず。同会は専ら正式に教科的に游泳を修むる正会員の増加を以て隆盛の標準と為す次第なるに、本年は昨年の一倍以上に当り、孰れも会の精神を*服膺し規律を厳守し真に游泳学校生徒と稱す可き体面を成せり。元來漫りに会員の数を増すは容易なれども、規律及び氣風が一種我長崎の游泳協会學風を成就する点こそ難事なるに、本年は師範諸氏の熱誠愈々創立の本旨を發揮したると昨年の上級会員が助手を務めて沈着穩健の*儀表を示したるとに因りて兎角尋常の場合ならば游泳は娯樂若しくは曲芸に走り或は挙動が我武者流に陥り易き所を一向這般の弊害を寄せ付けずキツパリと礼法技術兼ね行うて勇氣和氣兩つ乍ら得たる特殊の美風を画し得た是ぞ無上の功蹟である。

次には婦女子の游泳は旧式因循の家庭には不喰嫌いの者多かり

しも、教師其人既に円満謙和の徳に富み会場の制裁亦高尚なるを以て、他所ならば得て之有る所の喧噪狎嬌の言語挙動等は此協会に於て見たくも見られず。乃ち温雅にして健全なる女子の徳は夏期の鼠島に於て修養し得と云うも*誣いざる可く、昨年は精々二三十人に過ぎざりし婦女子会員が、本期は一躍して二百人以上に達し正に十倍の増加とは驚く可し。而して是れ全く協会の眞価値が漸く社会に認識されたる影響にして次年には恐らく男子会員に譲らざる程加盟者を致すならん。即ち是れ本年の最も目に着く成績である。

協会の盛大に伴うて最も心配なるは游泳者の監督であるが、本年は其為め特に望鏡を場の中心に設け監視者は断えず楼上に在り肉眼及び望遠鏡を以て仔細に水上を視渡し送音器を備えて警戒及び号令を与うるが故に万に一つも陥溺を救済し得ざる事なく、少しく疲労して苦むと見ても教師助手若しくは上級者が泳ぎ寄りて援助する程なれば、斯かる中にて怪我を為す人は当人の自業自得。即ち己れが協会の制規を弁えず、鼠島を娯樂場と誤認して勝手に制限区域外を泳ぎ、監視者の眼を盗みて自ら被保護の権利を*抛擲し、好んで棧橋下杯にもぐる人に限るなり。実に現場を見れば教師助手諸君の労苦親切は何人も感謝せず起居り得ざる可し。

先日も或進会員有りて競泳挙行中は一般の游泳を禁止せるに拘わらず勝手に泳ぎしを、監視者に叱られしを不平とし、規則も

何も有るもの乎とブツ／＼言い、將に熱心なる会員の制裁を受
けんとせしが、会場内に於て規則を無視する言動有る者は極め
て極端の場合ながら、偶には横鬢一つ位い見舞われた迄、是れ
己が生命保護の爲め腹立つは不道理なり。例せば、航海中には
船長が生命の保護者たるを以て船内の治安警察は船長の特権た
ると同じく、既に協会に入る以上は協会は秩序を保つ必要上相
当の威厳権力を有せざる可からず。乃ち規則を知らずに叱られ
たとて、知らぬ失策は恥で無し。其を人前繕うて肝癢起す杯は愚
の至りなり。制止を聴いて上陸して自ら笑えば人は笑わぬな
り。此段は吳々世人に諒解を望む儀である。(つゞく)

服膺 心にとどめ忘れないこと。

儀表 模範。手本。

誣いる 事実を曲げて言う。

抛擲 放り出すこと。

●明日の鼠島

瓊浦游泳協会にては鼠島游泳期を延ばし明十八日が愈々閉会日
なれば、師範助手其他会員等興味ある游泳の競争ある由なるが、
今其順序を聞くに左の如し。

- 一、亀泳蹙足游泳
- 二、平泳競泳
- 三、横泳
- 四、拔手
- 五、盲目西瓜取
- 六、潜水
- 七、両足擲
- 八、片手足
- 九、両手擲
- 十、手足擲
- 十一、鹽
- 十二、負兒

九月十八日

游泳協会の成功 中

始有らざること無し、終有ること鮮しと世間通の戒むるに照
し、本年の瓊浦游泳協会は創業守成相半ばすという理由に於て
協会其れ自体の爲め異常に重要な年期で有た。

然るに協会は一方に於て創業の主動者たる池田正誠君が依然た
ると同時に、専任師範として新たに熊本の老功家吉田莊太郎先
生を招聘して教科の体用を整え更に市中出身の最も熱心なる游
泳家笠野源三郎氏の名誉師範に加わる有り。池田肥大居士と興
に赤銅以上軍国の主要品カーデフと色を争わんずる勢い有り。
更に三谷為隈氏を抜いて囑托師範とし高柳老大尉亦元氣昨年
に一倍して名誉師範を務めたれば、昨年に比すれば寧ろ手揃い
と謂う可く、且つ助手諸員の功績や没す可からざる者あり。固
より助手の人は概ね青年の士にして未だ軽々しく大局の事を許
す可からずと雖ども、游泳の達人なることと後進を導くの懇切
なることは、海水を天地とする池田先生の風概に孤負せず。則ち
助手の姓名や特に録せざる可からず左の如し。

伊東幸次郎 谷口良三

野村 勝 中、岡本 栄次

商、田中 直治 商、宮川清三郎

中、山本 俊 ■ 中、宮田 格

三工、島谷秀次 浅香 繁郎

山口 次郎

右の内、中と冠せるは*長崎中学校、商は*商業学校にして三工は*三菱学校生徒なり。而して此島谷こそ跳込みの名人にて跳ぶ潜る浮ぶの迅速なること誠に*逸群の技倆有り。大坂の競争に抜駆してチャムピオンを博せしは実力なり。谷口良三は既に早稲田大学に赴き又宮田格亦卒業して東京に上れるが、自己の*デューターに忠なること本年の游泳協会に於ける如くば二子必ず事業界学問界に大成せん。其他諸子皆誠に美質なり。次に上級生徒にして助手の墨を凌がんとし各組の長として進退の儀表を務むる所謂班長は左の七名なり。

商、奥田 直恵 中、松室 安昌

商、石田 清徳 商、河津 貞男

中、藤村 恒章 商、大塚俊三郎

商、田口 光雄

此外に副島勇太氏雪武某氏及び海事局の土佐人堀見某氏有り。

真に斯道熱心の為めに小児に伍して*扶掖の勞を取れり。

尚お前述助手の一人野村勝氏は本県巡查を奉職する人の由なるが、正式に*豊後游泳を卒業したる事として、四五間の竹竿を自在に水中より引起しつゝ、(立泳ぎの儘)押し立つる等の愛嬌も示したり。(つゞく)

長崎中学校、商業学校 旧学制の中等教育学校で、義務教育である尋常小学校を卒業後に進学した。現在の中学一年から高校二年にあたる五年

間が修業年限。進学率は低く高等女学校などを含めた中等教育学校全体でも二割にも満たなかった。長崎中学は長崎東高、長崎西校の前身。商業学校は長崎商業高の前身。

三菱学校 三菱重工が自社の社員を教育するために設置していた学校。社員として給料をもらいながら教育を受けられるため非常に人気が高く優秀な人材が集まった。ただし学制に基づく『学校』ではないため学歴は尋常小学校卒であつた。

逸群 Ⅱ 抜群

デューター Ⅱ July 「義務」「本分」のことか。

扶掖 助けること。

豊後游泳 白杵の山内流のことであろう。

九月十九日

游泳協会の成功 下の一

協会女子部の隆盛が驚嘆に値するに至れるは、進歩せる家庭が協会の真味を諒解せるに基けるが、元来女子部の教授法は干渉に過ぐれば婦人方の常として深く煩わしがりて遠ざかり、又督促せざれば何時迄も水を憚り或は妙に柔軟を銜うて泳ぎ得る所をも控え、目に為し過ぎる癖有り。指導攝受の緩急なかなか六かしき者にて、男子の師範なれば聊か御機嫌を取りて教え申す位にて丁度宜しき位の傾きを生じ易き所本年は左の三夫人名誉準教師として専ら訓導の任に当り女性を以て女性を率いし為め調和の宜しきを得たり。

宮川米千代 山口レツ 島田千代

勿論池田師範の闊達なる態度は、女性の気分を暢達せしむ可く天然の感化力を有する上に、臨時女子部に入りて誘掖の勞を執られたるを以て女生徒の進歩は一段光彩を放つに至れる次第なるが、主なる監督として河村弘貞氏小林潔氏が女子部に臨みしは成功の直接原因たる可く覺えたり。

女子部の監督は技倆よりも資望と年齢とを主要条件とする所。多年港務局長たる位置は自ら斯かる事に適す可く思惟さる。河村氏が直率にして規則正しき行動を以て衆を率いしことは、頗る吾人の意を強うせしむる者あり。而して之に副うに、小林氏の淡泊にして技倆の超越なるを以てせしかは女子部は氣を退けず危険の患も無く和意洋洋として、陸上休憩の人々も自然に居心地佳く猥りがましき娯樂の組杯は余り近ならず、一種の温雅なる社会を成すに至れり。

願うに昨年は三菱炭鉱社長江口定條氏が奮うて協会の柱石を以て自任する有り。氏の温粹謙和にして事務に精確なる人格は協会創業の処理に大部分を貢献したりしが、協会の為めには不幸にして、昨年の協会期果つると同時に氏の他県転任を見しも、昨年を得ざりし河村氏をば本年に得たれば、協会は彼此相償うの觀を呈したり。兎角進歩せる家庭の人が率先して躬行の任に當らるゝは協会發達の好因なり。青年書生を相手として只だ泳ぎ達者の人間を作るのみならば、尋常の游泳教師のみにて足る可しと雖ども、瓊浦游泳協会の真旨は爾く單純ならず。常に上

流社会の家庭をも攝収するに足るの本領を要するに付き、先輩たる側の人格が大切なりと知る可し。畢竟協会の本領は『夏の鼠島は最も健全なる屋外の大家族なり』という實を成すに在り。協会に終始する諸君は永遠に這般の抱負を棄つ可からず。見給え、斯かる愉快なる爾して高尚なる官民共同的游泳場は他所には決して數無きなり。是豈長崎の成功に非ず耶、他に聞かじめ羨望せしむるに足る大なる誇りに非ず耶。

然りと雖ども美事は価無しには出来ざるなり。行末は長崎市中一般の家庭を招致し、夏の長崎を此一孤島に清涼化せしむ可き。我協会の發達を祝する人は翻えりて協会の經濟面を一顧するの情を要す。請う是より聊か該方面に談及せん。(つづく)

●昨日の鼠島

游泳協会は昨日を以て愈々閉会することとし、其余興として各會員の競泳を挙行したり。社員の該島に至りしは午後三時半にして当時既に余興の大部を済したりしも、尚お四五種の游芸に於て総員の技量を見るを得、其全般を推察するを得たり。其女子の游泳及び助手師範各員の遠距離競争は当日の觀物として殊に人目を引けり。其詳細の模様に至りては之を明日の紙上に挙ぐることとなしぬ。

九月二十日

本期最終の游泳協會

既報の通り、游泳協會は一昨十八日を以て閉会し、之と共に余興として各種の競泳を行いたり。今其景況を記せんに、社員の該島に至りしは午後三時半にして、既に競技遊泳の大半を済せる時なりき。而も其發達よき筋肉と浅黒き皮膚に瑠璃の水球も飾られし頑丈作りの男女各会員の身体を見ては、其勤勉の度合も思いやられ、且つ市中の陋屋に蟄居して徒に長袖寛帯の都人を学び、白面優柔の軟骨者流と異なるを目にせしは上岸一番吾人の意を強うするに足るものなりき。

恰もよし今や海上には游手目を隠してスタートラインを發しぬ。黒点々西に向い東に去り沖に往くもの岸に来るもの参差相離乱して游泳する状の如何に滑稽なりしことよ。岸上觀客の哄笑は高く拍手の聲に和して丘上颯々の松音を歿し去りぬ。而も各自は尚お決勝点の一方に向うて進めるものと自信せる吾人は之を觀て一活教訓を得たり。觀者は世上盲進の如何に恐るべきを知らせるや。

其他片手片足泳、両手擲泳は短距離なりしとは云え、泳手の苦勞と忍耐との多大なりしを察しぬ。若し夫れ女子の游泳に至つては纖手(ふさ)に蒼波を縫うて突進する処りよくび朱唇期せずして白浪と相映する様優にして壯、其觀客の片唾を呑んで注視せるを見れば如何に人目を引けるかを知る可きなり。次に來れるは

助手及び師班長の競泳なり。之実に會員中鏘々の老巧者を集めて成りしもの。船を海上一千ヤードの遠きに出して一躍水に投ずるや龍蛇動き鯨鯢走り滄海を割き白波を蹴つて來る処壯絶又快絶是れ誠に本日唯一の觀物なりき。況んや*窈窕妙齡の淑女にして技を堂々の男子と争わんとし、此の遠距離競争に加わるに至つては、たとえ中途上船するの止を得ざるに至りしとは云え、其勇氣の賞す可く驚く可きものありて存するを見るなり。而して先着は僅に三分四十秒を費せり。時既に斜陽西に没せんとし、*翠烟山を包んで模糊たらんとす。即ち余興を止めて賞品の授与を行ひ式を閉ず。今其受賞者を挙ぐれば左の如し。

(二三等受賞者は略す)

バタ泳甲一等	野村 太一	師班助手同	奥田 直衛
平泳 甲同	山口 金次	同 乙	清水善太郎
女子バタ泳同	田中 スガ	同平泳同	今村 サイ
横泳甲同	塚原 清次	同乙同	小田 一
拔手甲同	山口 金次	同乙同	清水善太郎
同女子同	今村 サイ	盲泳甲乙同	塚原 清次
片足片手泳同	藤村 恒■	両手擲泳同	奥田 直衛
女子 同	川村 操		
遠 離競泳同	藤村恒■(中)	同二等	島谷秀治(三工)
同 三等	奥田直衛(商)	同四等	田中直治(商)

同 五等 山本俊磨（中）

本年の游泳協会は斯の如くして終れり。各会員は今に於て養いたる剛壯の氣と強健の体とを省みて如何の感あるや鍛練百千の効を経て成れる*干将莫耶の劍も之を試むるに由なくんば遂に其利鈍を知る能わず。諸氏よ今や*灯火親む可き時に当り、其健全なる身体と活発なる精神とを利用して或は教場に難問を解き社会に風浪を蹴破し去らんこと猶お鼠島の水波を弄ぶが如くあらんを余は希望して止まざるなり。長髮

窈窕 美しくしとやかなさま。

翠烟 緑のもや、かすみ。

干将莫耶の劍、 「干将莫耶」は中国春秋時代の名劍。そのような名劍でも試してみないと鋭いか鈍いかはわからない。

灯火親しむ可き時 秋は涼しく夜が長いので読書に適しているところから秋のこと。